

平成 30 年度山形大学ハノイ(ベトナム)サテライト派遣事業募集要項

1. 目的

山形県内高等教育機関に在籍する日本人学生及び県内企業・公共団体等の社員、職員が、外国に滞在し、現地の人々との交流を通じて、異文化を理解するとともに、社会のグローバル化への対応力を養う。

本プログラムでは、派遣先大学で現地学生・社会人を相手に、日本文化や日本語について紹介しながら、相手国文化・実情を学ぶことにより、グローバル化時代に必要な次の4つのスキルを身につけることを目的とする。

- (1) 自らの価値観を俯瞰する能力
- (2) 異文化への直応力
- (3) 創意工夫で状況に対応する能力
- (4) 英語力を含めたコミュニケーション能力

2. 内容

ベトナム国立農業大学に設置している山形大学ハノイサテライトに1週間～2週間程度派遣する。派遣対象者は、県内の高等教育機関に在籍する日本人学生及び県内企業・公共団体等の社員・職員とする。主な活動は、現地の学生・社会人に日本語や日本文化について紹介することとする。そして、派遣先大学の職員や学生等と積極的な交流を図り、社会のグローバル化への対応力を養う。

3. 対象者

- (1) 山形県内の高等教育機関在学の日本人学生（学部生、院生は問わない）
- (2) 山形県内の企業・公共団体等の社員・職員（職位・年齢は問わない）

4. 応募資格

- (1) 派遣期間中に適切な危機管理ができる団体に所属していること。
- (2) 派遣期間中、健康面を含めた必要な自己管理ができること。
- (3) 本プログラムの情報発信及び情報提供に協力できること。

5. 申請者数

県内の各高等教育機関・各企業・各公共団体から1名までとする。

5. 派遣期間

平成31年2月4日（月） ～ 平成31年3月22日（金）

※上記の期間で1週間～2週間程度で各自設定することとする。ただし、現地の受け入れの都合により、日程が前後する可能性がある。

6. 実施経費等

- (1) 派遣者の所属する各団体にて負担する。
航空券代や現地の生活費等、当該プログラムに係る経費の負担は、派遣者が所属する各団体で検討する。
- (2) 宿泊先（ゲストハウス）は事務局である山形大学（以下、事務局）にて手配する。ただし、宿泊費については、派遣者が現地で支払うものとする。
- (3) 空港から現地大学までの送迎の調整は、事務局の方で行う。ただし、費用は派遣者が現地で支払うものとする。

7. 申請方法

「申請書（別紙様式1）」及び「同意・承諾書」を各団体の事務担当者を通じ、事務局に郵送又はメールにて提出する。

※募集要項及び申請書等は、山形大学のホームページにも掲載する。

8. 申請期限

平成30年12月21日（金）

※郵送の場合は、必着とする。

9. 派遣者の決定について

調整は、事務局が行う。

調整結果は、事務局が申請のあった所属団体の事務担当者へ文書及びメールにて通知する。

※同時期（2月21日～3月19日）に山形大学の学生も派遣することから、現地の受入定員により、派遣できない場合がある。

10. 渡航に係る危機管理について

渡航中の危機管理については、派遣者が所属する各団体で行うものとする。

11. 実施報告

プログラムの終了後、帰国後1ヶ月以内に「報告書（別紙様式2）」を各団体の事務担当者を通じ、事務局に郵送又はメールにて提出する。

提出された報告書は、山形県国際交流人材育成推進協議会の発展のため、本協議会に加盟している各団体に提供する場合がある。

12. 申込書等提出先及び照会先

990-8560 山形県山形市小白川町一丁目4-12

山形大学 教育・学生支援部国際交流課

Tel : 023-628-4926

E-mail : rgkokusai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

13. 事前オリエンテーションについて

派遣者には、事務局において事前オリエンテーションを実施する。

詳細については、決定後、所属団体の事務担当者を通じ、別途指示する。

14. 渡航準備について

以下について、各自で準備するものとする。

(1) パスポート・ビザ

パスポートの必要有効残存期間については、必ず事前に確認し、必要な準備をすること。

滞在日数により、ビザが必要な場合があるので、派遣希望国の情報をよく確認し、必要な準備をすること。ビザの申請には時間を要するため、派遣決定後速やかに準備をすること。

(2) 航空券

派遣決定通知に記載された派遣期間に合わせ、派遣者の方で手配すること。現地到着時間は原則平日午前7時～午後7時頃までとし、夜遅い時間の到着は認めないこと

がある。ただし、航空経路の都合上、夜遅い時間に到着せざるを得ない場合は、事前に事務局に相談すること。

(3) 海外旅行保険

必ず渡航日（住居から出発）から帰国日（住居に帰着）までをカバーする海外旅行傷害保険に加入すること。クレジットカード付帯の保険では、補償内容が十分でない場合があるため別途加入することが望ましい。

その他、所属団体において定められた指定の保険に加入すること。

(4) 予防接種

厚生労働省検疫所ホームページや外務省海外安全ホームページ等を参考に、必要な予防接種を受けること。

(5) 外務省海外旅行登録（たびレジ）登録

現地での危機管理情報の取得や緊急時の連絡のため、滞在先、滞在期間、渡航スケジュールが決定したら、外務省海外安全ホームページから、「たびレジ」に登録をすること。

(6) 海外渡航・留学届

所属団体の提出方法に基づいて、済ませておくこと。

(7) その他

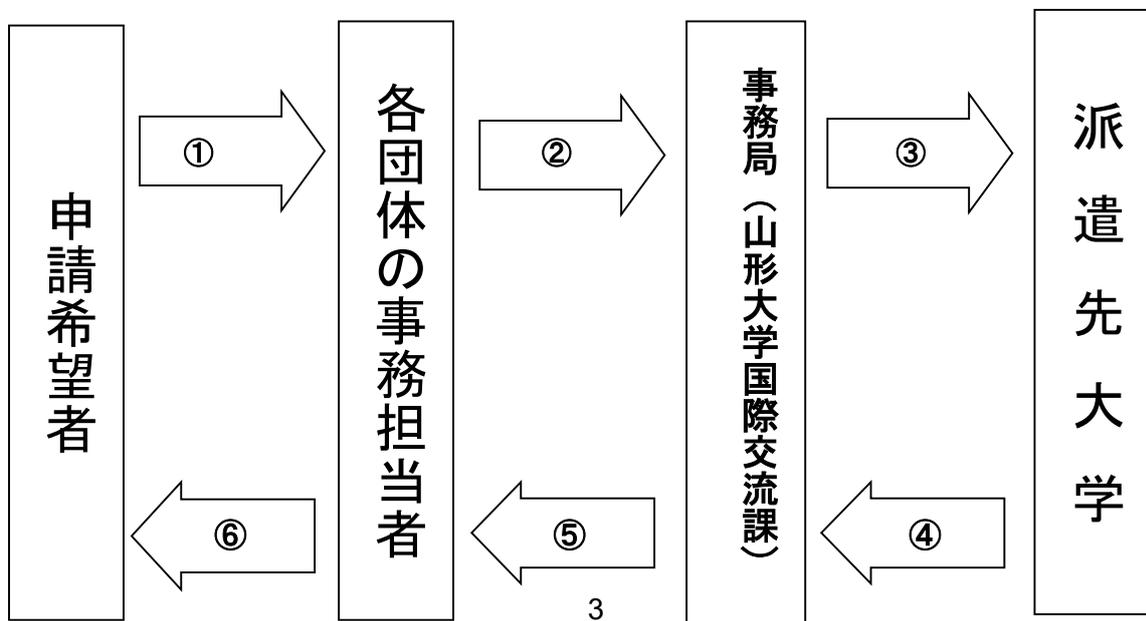
所属団体において、各自渡航に必要な手続きを済ませること。

1 3. 注意事項

派遣の決定や日程調整に際し、事務局からメール又は電話により連絡する場合があるので、連絡を受信できるように設定をしておくこと。

事務局からの連絡に回答のない場合は、危機管理に問題があるため申請を取り消すものとする。

1 4. 申込みから派遣までの主な流れ



- ① 申請書（別紙様式 1）を所属団体の事務担当者に提出
- ② 申請書（別紙様式 1）を事務局に郵送もしくはメールにて提出。
- ③ 受入日程照会
- ④ 受入許可
- ⑤ 派遣決定通知を所属団体の事務担当者に郵送及びメールにて行う。
- ⑥ 派遣決定通知

15. その他

- ・ 現地の情勢、状況の変化等により、希望した期間の派遣ができない場合がある。
- ・ 渡航中の緊急連絡先として、所属団体の事務担当者と事務局の連絡先をお伝えするので、派遣者は、海外で連絡がとれる手段を確保すること。

派遣先大学紹介

*ここに記載の金額は、2週間滞在した場合の予想額であり、為替変動や渡航時期等によっても変化するものである。

*ビザ情報については、変更になる場合があるので、各国大使館HP等で最新の情報を確認すること。

大 学 名	<p>ベトナム国立農業大学</p> <p>Vietnam National University of Agriculture 通称 VNUA</p> 
国 名	ベトナム社会主義国
都 市	ハノイ
公 用 語	ベトナム語
ビザ情報	<p>15日以内の滞在であればビザ不要、パスポートの残存期限6ヶ月以上。(前回のベトナム出国から30日以上経過している場合)</p> <p>16日以上滞りの場合または30日以内に2回入国する場合は必要となる</p>
宿泊施設	大学構内の国際学生寮またはゲストハウス
費用の目安	<p>航空券：6万円程度(※航空運賃は、時期により変動する。)</p> <p>送迎費：1万円程度</p> <p>宿泊費：1万円程度</p> <p>滞在費：2万円程度(食費など)</p>
治安・衛生等の現地状況	<p>治安状況：人の多い観光地や混雑するバスの車内などでは、ひったくり・スリ・置き引きが頻発している。 シクロやバイクタクシーを利用し運転手から高額請求をされたという例が多く報告されている。</p> <p>衛生状況：現在、深刻な感染症等の流行は報告されていない。6月～11月は雨季となり高温多湿となるため、食品の保存や体調管理(虫刺され対策等)にも注意が必要。</p> <p>交通事情：自動車やバイクが通行区分や規制を無視して道路に溢れている状況のため、非常に危険。道路を横断する際は、現地の学生と共に行動すること。</p>
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度から山形大学生および職員を派遣している。 ・本部前の池のほとりに、山形大学の記念樹が植えられている。 ・物価が安く、食事代は1食80円～300円程度。
学生からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・ベトナムに行って本当に良かったと思います。何よりベトナムで会ったみんなと楽しく3週間を過ごせたことが良かったです。迷っているなら、是非参加してほしいです！ ・オシャレなカフェもあり、ベトナム人学生の友達とよく行きました。今回で2回目となりますが、プライベートでも行きたいと思うくらいとても好きな国となりました。